

2017年2月23日

博報堂イノベーションデザイン、 未来の兆しを可視化する独自のプログラム

「Future Scenario Mapping」を提供開始

オリジナルマップをWEB サイトでも公開 <http://innovation-design.jp/fsm/>

株式会社博報堂（本社：東京都港区、代表取締役社長：戸田裕一）のイノベーション創発の専門組織「博報堂イノベーションデザイン」は、企業・組織の新規事業創造をサポートする独自のプログラム「Future Scenario Mapping（フューチャー・シナリオ・マッピング）」の提供を開始いたしましたのでお知らせします。

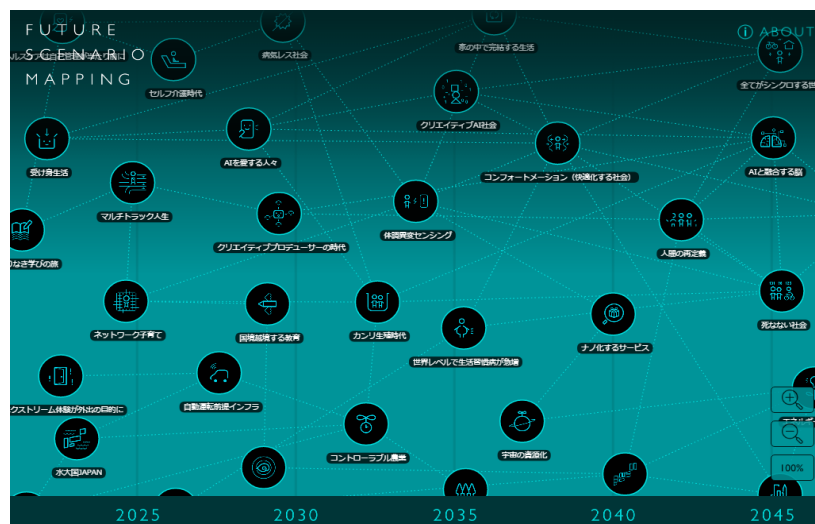
企業や組織がいままでの延長線上ではない新たなイノベーションを起こすためには、社会全体を俯瞰した上で未来環境を徹底的に把握し、見通しを立てることが重要です。そのためには、想定できる未来に加え不確実で非連続な未来についても同時に検討し、複数の視点で未来や生活者の情報を幅広く収集・洞察する必要があります。

「Future Scenario Mapping」は、これらの課題を鑑み開発した独自のイノベーション誘発プログラムです。未来に関わる事象や兆しなどを幅広く情報収集・分析し、それらに意味付けをして未来を洞察。企業・組織で共有し、イノベーション活性化につながるアウトプット（＝Future Scenario Map）を制作します。

本プログラムで制作する「Future Scenario Map」は、数十年先の幅広く多様な未来を、一覽で閲覧できるツールです。ウェブやアプリなどのデジタルプロダクツやブックなど、プロジェクトに合わせて最適なアウトプット手法を提案、イノベーション誘発に寄与いたします。組織内で未来への対話が活性化され、未来への備えを共有し、その組織ならではの未来ビジョンをドライブすることを目指しています。

なお、本プログラム提供に合わせて、博報堂イノベーションデザインオリジナルの Future Scenario Map を公開します。博報堂が提携するデジタルプロダクト開発スタジオ、リアクタージャパンとの業務連携プログラムである「INNOVATION GENERATOR」を活用し、制作しました。約30個のシナリオから成り立ち、それぞれのシナリオのベースになる情報ソースやシナリオ同士の相関性などがご覧いただけます。

[\(http://innovation-design.jp/fsm/\)](http://innovation-design.jp/fsm/)



本プログラムは、事業・商品開発、研究テーマ開発、オフィススペースイノベーションに取り組む企業・組織への提供を想定しています。各課題に応じてカスタマイズし、提供していきます。

<未来環境マッピング・具体プロセス>



【phase 1：ベーシックスタディ】 事前情報収集・分析

博報堂イノベーションデザインが、国内外の未来の兆しを示唆するニュースや記事を日々収集し、その変化のポイントや社会に及ぼす影響などをとりまとめた Future Bookmark の活用に加え、デスクリサーチ・有識者ヒアリングなどを実施。

【phase 2：兆し探索】 テーマ別のより深いインプット

設定したテーマをさらに深く洞察するための視察・フィールドワークなどを設計、実行。既存の課題認識を超える幅広い視野の獲得によるより深い示唆を得る。

【phase 3：マップ制作】 ワークショップ・アウトプット制作

博報堂イノベーションデザインメンバーのファシリテーションによるワークショップを通じて、上記で収集した情報を統合するマップ作成を行う。シナリオのコピーライティング、ブックやデジタルアウトプット制作のためのクリエイティブデレクションまでを一貫してサポート。

<アウトプットイメージ>

インナーへのビジョン浸透のための共有ツール、アウトターに対する組織の未来像を可視化するシンボリックな発信ツールなどを想定。WEB サイトコンテンツやアプリ、インタラクティブデジタルウォール、ブックなどへの展開を想定。



■博報堂イノベーションデザイン

博報堂イノベーションデザインは、企業や社会のイノベーションを支援するための専門チームです。未来洞察や、機会発見のためのフィールドリサーチ、コンセプト立案、プロトタイピングなど、生活者発想イノベーションの方法論を使って、企業の製品・事業開発や社会の課題解決に貢献しています。

<http://innovation-design.jp/>



hakuodo innovation design